## 普通とは何か

学生相談室　田中　幸

今回は普通について考えたいと思いました。皆さんが普通でありたいのは何故ですか？哲学者のカネッティは普通を求めるのは人間の本能であり、普通というものは他者と異なる恐怖心から生まれるものと言っています。

確かに他者と同じであれば安心しますよね。ただこの普通とか常識は、一歩外の世界へ出れば全く違います。海外では電車が遅れるのが普通だという国もあるし、最近はマスクもしてませんよね。でも日本では電車が定刻に来ないと不安になるし、マスクを着用するように声をかけられることが多いです。日本でも沖縄は沖縄タイムというものがあり到着は約束の２、３時間経ってからであったりすることも普通だと TV で見たことがあります(全てではないかもしれませんが)。だから沖縄は大らかでゆったりした雰囲気があるのかもしれません。毎日を急いでいる人達も、普通が異なる沖縄旅行へ行く人が多いのは、日常で求められる「普通」から解き放たれたいのかもしれません。

これってどちらが普通なのでしょうか？

その場その場で普通や常識が違うのに、私達は小さな今いる場所で生きているため、時々「その場での普通」に縛られてしんどくなったり、悩んだりします。普通はこうなのに何故自分はできないのか！とか、他者との間で私が正しい、俺が正しいと喧嘩になったり腹が立ったりすることもあります。

メールの返信について、速さを重視する人もいれば、正確さを重視して何度も見返してから返す人、相手のことよりもまずは自分のペースを大事にし、気が向いた時に返す人もいるでしょう。仕事や学校を休むべきではないと考える人が体調が悪い時、仕事や学校はどうするのでしょうか。体調の度合いなのか、こうするべきで選ぶのか、自分の感覚なのか、世間一般論に照らし考えるのか。一体何が「普通」なのでしょうか。

その場、その時の状況、その人次第で普通が違うなら、決して「こうあるべき」なんていう正解や普通は、無いんじゃないでしょうか？（法律で定められていること以外は）

普通や常識というのは、その場所でやっていくための方法で、あくまでその場所の中でのことであり、決してこれが絶対にいつも正しいとは限らないのではないでしょうか？（もちろん集団や他者と過ごす場合、合わせることも必要なこともありますが）

何が言いたいかというと、こうするべきとかこれが普通というのを求め普通であろうとしても、時と場合、場所により変化する「普通」に絶対はないし、変化しうる「普通」にいつも合わせることはできないので、普通でいなければならない！と思う必要は無いということです。みんなが普通という安心を求めて寄せ集まった結果「その場での普通」ができ上がってるだけかもしれません。

日本は特に足並みを揃えることや調和、礼儀、空気を読む、我慢や一生懸命など、法律以外に美徳とされていることや暗黙の了解がたくさんありますが、それが普通を作り、行動や考えを決める指針になり、時には安心材料にもなり、自分がそれに沿ってない時には苦しめる元にもなります。一歩外の世界へ出るとその普通が普通ではないし、当たり前ではないかもしれません。

いくらでも変わり得る、たまたま今いる狭い世界での普通に縛られすぎず「私はこう思う」という自分の考えを認め、同時に他者との違いを認め合って生きていけたら良いなと思います。